

旧マッケンジー住宅顕彰事業
展覧会

「住む人の心に寄り添う建築 ヴォーリスの洋館たち」

～旧マッケンジー住宅を建てた建築家の功績～

2014.9.27(SAT)～11.24(MON)

旧マッケンジー住宅を設計した
W. M. ヴォーリスの没後50年
を記念して、彼の業績を讃え、建
築の特徴や魅力について写真や解
説等によるパネル展示を行います。
申込不要。直接会場へお越し
ください。

【会場】

旧マッケンジー住宅

(住所：静岡市駿河区高松 2852)

【開館時間】

午前9時～午後4時30分

関連事業

11/1(土)

洋館できくおいしい
静岡茶の入れ方と
おはなし

お茶の日にお茶にまつわる
講座を実施します。

※詳しくは裏面を
ご覧ください。

旧マッケンジー住宅とは

旧マッケンジー住宅は、静岡県駿河区高松の海岸沿いに建つ、白い壁が美しい洋館です。この屋敷に住んでいたダンカン・J・マッケンジーとエミリー・M・マッケンジーの夫妻は、大正7年にアメリカから来静して、日本茶業界の拡大に貢献した人物です。富士山が好きだった夫妻は、昭和15年に富士山のよく見える高松の海辺を選んで自宅を建設しました。

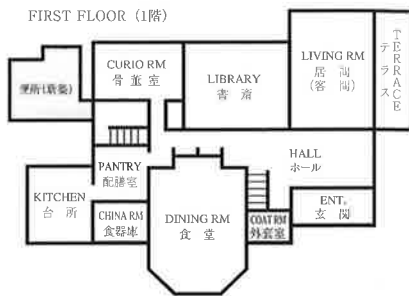
この建物を設計したのは、日本各地に多くの作品を残した建築家のウィリアム・M・ヴォーリスです。赤い西洋瓦葺きの屋根、スタッコ仕上げの荒い白壁、アーチ型の窓などが用いられたスパニッシュスタイルの住宅で、夫妻はこの屋敷にペガサス座の星の名から取った“HOM AM(ホمام)”という愛称をつけて親しんでいました。

昭和47年に夫人が帰国した際に屋敷の敷地の半分が静岡市に寄贈され、残り半分と建物は静岡市が買い取りました。現在は一般に公開されています。

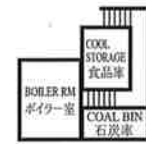


▲県内では唯一残るヴォーリスによる住宅。中央の展望室からは、美しい富士山と海を眺める事ができます。

旧マッケンジー住宅の間取り



BASEMENT (地下室)



TOWER (望楼)



洋館できくおいしい静岡茶の入れ方とおはなし

参加者募集

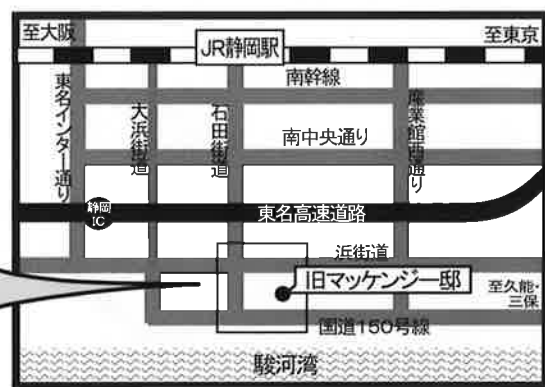
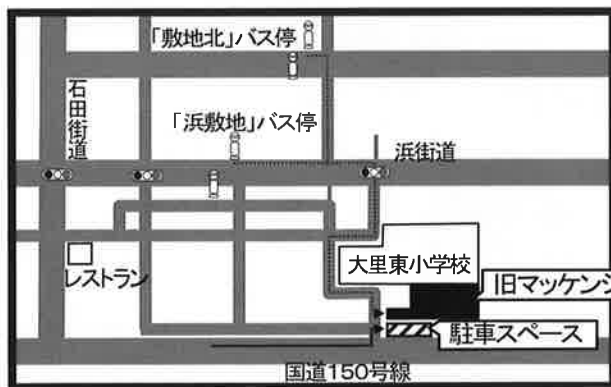
- 日時 11月1日(土) 13:30-16:00
- 会場 旧マッケンジー住宅(静岡市駿河区高松 2852 番地)
- 対象 どなたでも(無料)
- 講師 日本茶インストラクター
- 申込方法 10月7日(火)~10月20日(月) 9:00-17:30、電話で静岡市文化振興財団 (TEL:054-255-4746)まで(申込順)。

- 内容 静岡茶の輸出に貢献したダンカン・J・マッケンジー氏の住宅にて、日本茶インストラクターによる解説で、美味しい静岡茶の入れ方や闘茶体験・クイズ、お茶の歴史について学ぶ講座です。講座終了後には、旧マッケンジー住宅の見どころを解説するガイドツアーもあります。

静岡市お茶の日記念事業

会場アクセス

- バス : しずてつジャストラインバス石田街道線、「浜敷地」または「敷地北」下車、徒歩5分。
- 車 : 下図矢印のとおりに入場してください。(国道150号線から右折進入はできません) 駐車スペースが限られているため、できるだけ公共の交通機関でお越しください。



<旧マッケンジー住宅のご案内> 住所:静岡市駿河区高松 2852 番地 TEL:(054)237-0573
開館時間:午前9時~午後4時30分 月曜休館 入場無料

お問合せ:

公益財団法人
静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

TEL:054-255-4746